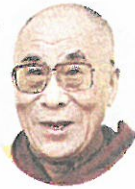


平和賞サミット

ダライ・ラマら9人

広島市 13団体代表も出席者発表



ダライ・ラマ14世

広島市は21日、11月12〜14日に広島で開催される国際会議「2010年ノーベル平和賞受賞者世界サミット」の出席者を発表した。チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世やゴルバチョフ元ソ連大統領たち歴代受賞者9人が被爆地に集う。

ほかに、デクラーク元南アフリカ大統領▽ワレサ元ポーランド大統領▽ラモス・ホルタ東ティモール大統領▽アリアス前コスタリカ大統領▽英国・北アイランドの平和活動家マクワイア氏▽エルバラダイ前国際原子力機

主催するサミット事務局(ローマ)が、広島市に現時点での出席者を伝えてきた。ダライ・ラマ14世の広島訪問は2006年11月以來。

関(IAEA)事務局(IPPNW)や国境なき医師団など13団体の代表者も出席。団体として受賞した緒方貞子・前国連難民高等弁務官も招かれ

出席者は11月12、13の両日、広島市で「ヒロシマの遺産―核兵器のない世界」をテーマに議論し、14日に最終宣言を発表する。

サミット事務局は8月、オバマ米大統領の出席を求める声明をゴルバチョフ氏たち5人が連名で発表。現時点で返答は来ていない。サミットを支援・推進する地元協議会の会長を務める広島市の秋葉忠利市長も近く、オバマ大統領に出席を呼び掛ける書簡を送る。協議会を構成する広島県の湯崎英彦知事、広島商工会議所の大田哲哉会長、国連訓練調査研究所(ユニタール)広島事務所のアレクサンダー・メヒヤ所長の連名とする。(金崎由美)

22 September 2010, Chugoku Shimbun  
Mayor Akiba will send the letter to the U.S. President, Mr. Obama, to ask him to attend the World Summit of Nobel Peace Laureates in Hiroshima, with Governor Yuzaki, Mr. Oota (the President of Hiroshima Chamber of Commerce and Industry) and Mr. Mejia (the Head of UNITAR Hiroshima Office).